

決算補足説明資料

FY23 2Q

2023年8月10日

ノーリツ鋼機株式会社
証券コード：7744（東証プライム市場）

NORITSU

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

■ 事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益から、その他の収益・費用を加減し、減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）を加えて算出しております。
連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

当期利益：親会社の所有者に帰属する四半期/当期利益

FY21：2021年12月期

FY22：2022年12月期

FY23：2023年12月期

FY23 2Q累計 連結業績

- 売上収益及び営業利益ともに、増収増益。業績予想に対しても上振れ
- 当期利益は、株式売却益等があった前年同期に対しては減益であるものの、業績予想に対しては上振れ
- テイボーは、筆記はアジア及び中南米市場が堅調だった一方、欧米及び国内市場が停滞し減収。MIMIは顧客の生産調整の影響が続き、前年同期並みで着地
- AlphaThetaは、好調な需要と供給の正常化により、売上収益及び事業EBITDAともに増収増益。業績予想に対しても上振れ
- JLabは、米国の家電小売市場の停滞が続くなかでもシェアを拡大し、増収。業績予想に対しても上振れ

FY23 通期連結業績予想

- 想定為替レートの見直し及び上半期までの進捗等を反映し、通期業績予想について上方修正。下半期は不確実性を考慮して保守的に織り込み
- 配当予想は、配当性向40%以上とする目標に変わりはないものの、現時点では変更なし

Contents

1. **FY23 2Q累計 連結業績**
2. **FY23 通期連結業績予想**
3. **トピック**

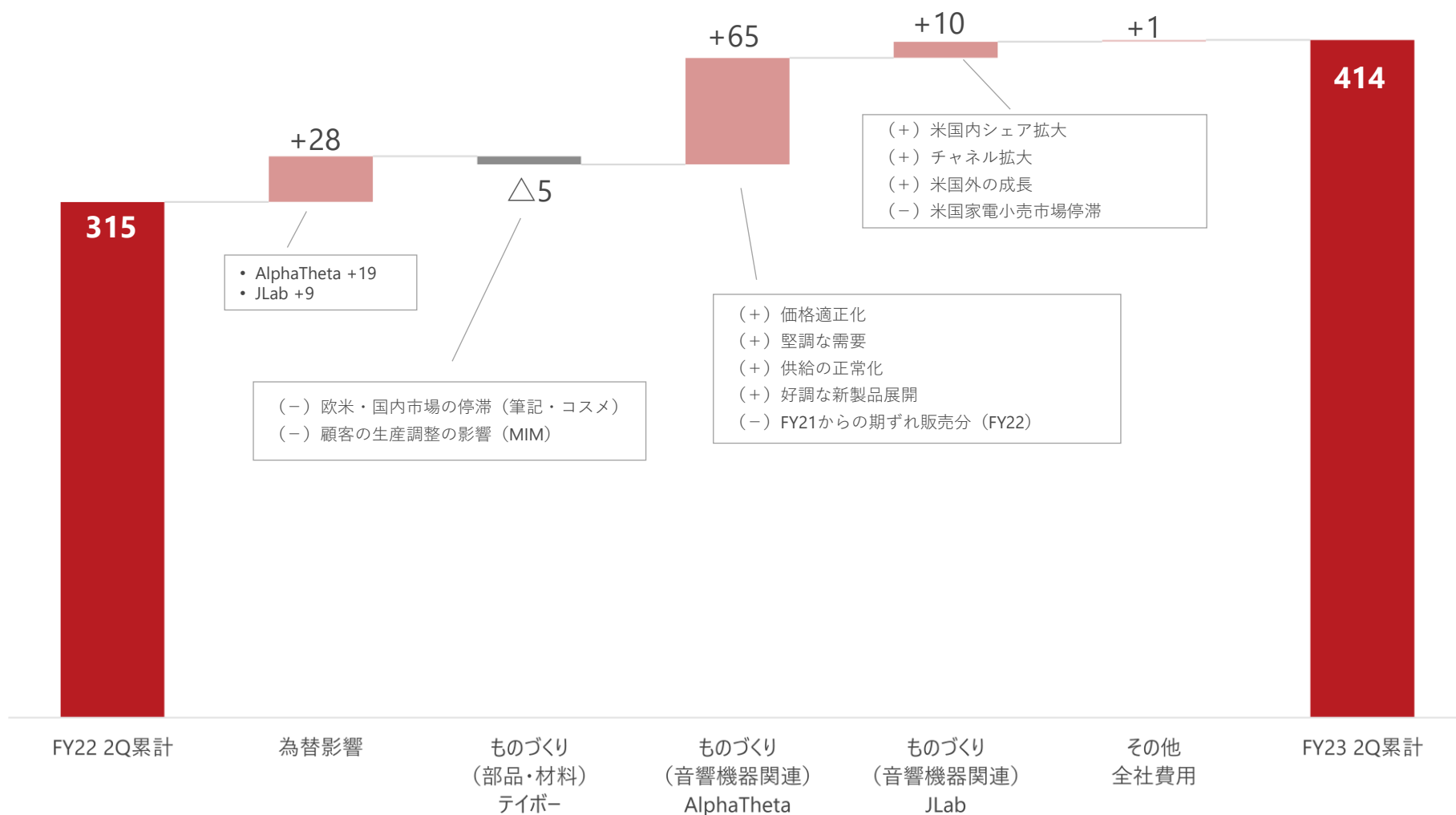
- 売上収益及び営業利益ともに、増収増益。業績予想に対しても上振れ
- 当期利益は、株式売却益等があった前年同期に対しては減益であるものの、業績予想に対して上振れ

単位：百万円	FY22 2Q累計	FY23 2Q累計	増減額	増減率
売上収益	31,536	41,469	+9,932	+31.5%
事業EBITDA	5,049	8,046	+2,997	+59.4%
事業EBITDAマージン	16.0%	19.4%	+3.4%	-
営業利益	3,267	7,365	+4,097	+125.4%
当期利益	101,121	4,454	△96,667	-95.6%
為替レート (平均)	米ドル (円) 122.9	134.9	+12.0	-
	ユーロ (円) 134.3	145.8	+11.5	-
為替レート (期末)	米ドル (円) 136.7	145.0	+8.3	-
	ユーロ (円) 142.7	157.6	+14.9	-

*JMDC株式の一部株式譲渡に伴い、FY22において医療情報に関する事業を非継続事業に分類しております。

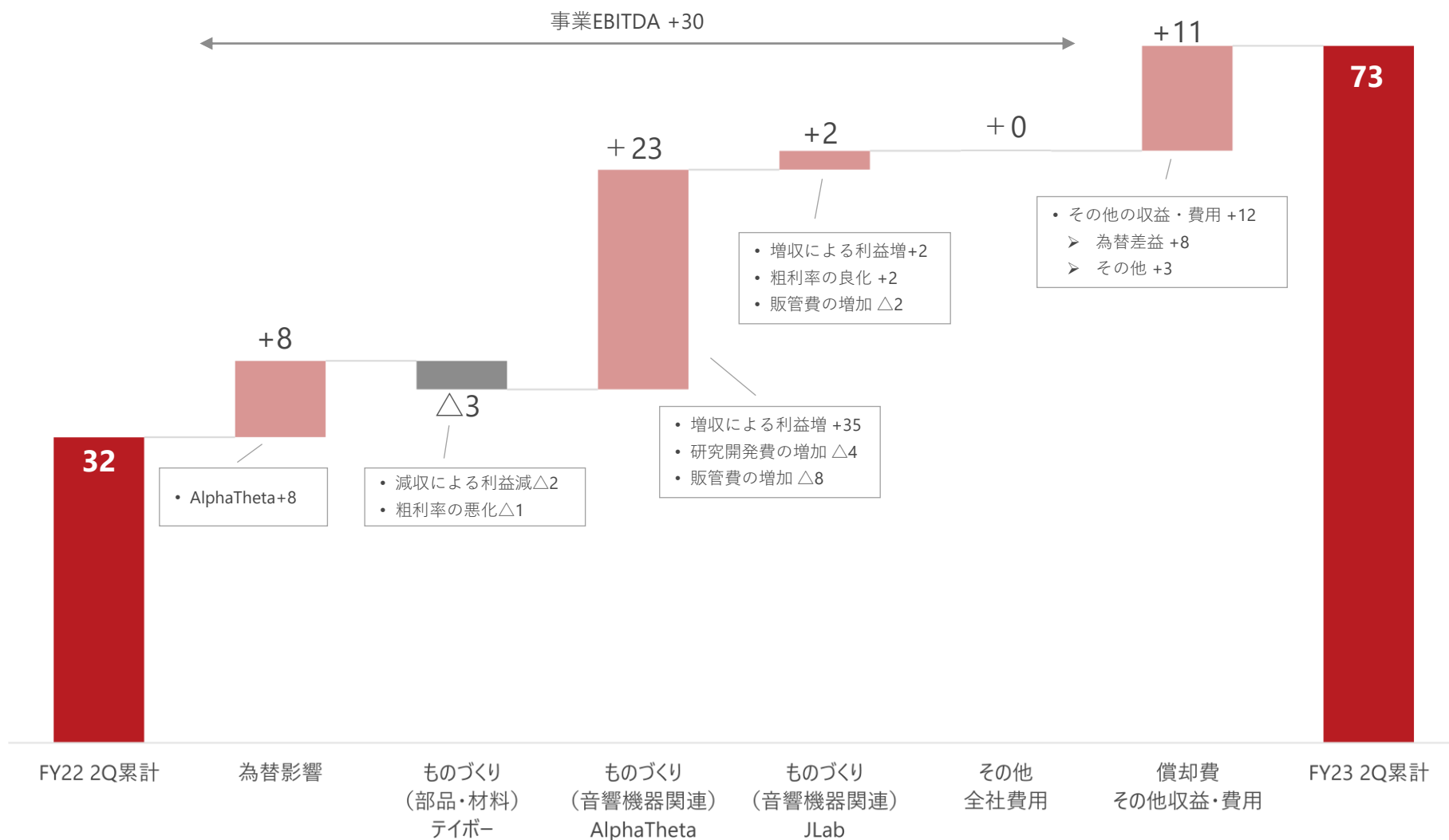
単位：億円

対前年同期



単位：億円

対前年同期



単位：億円

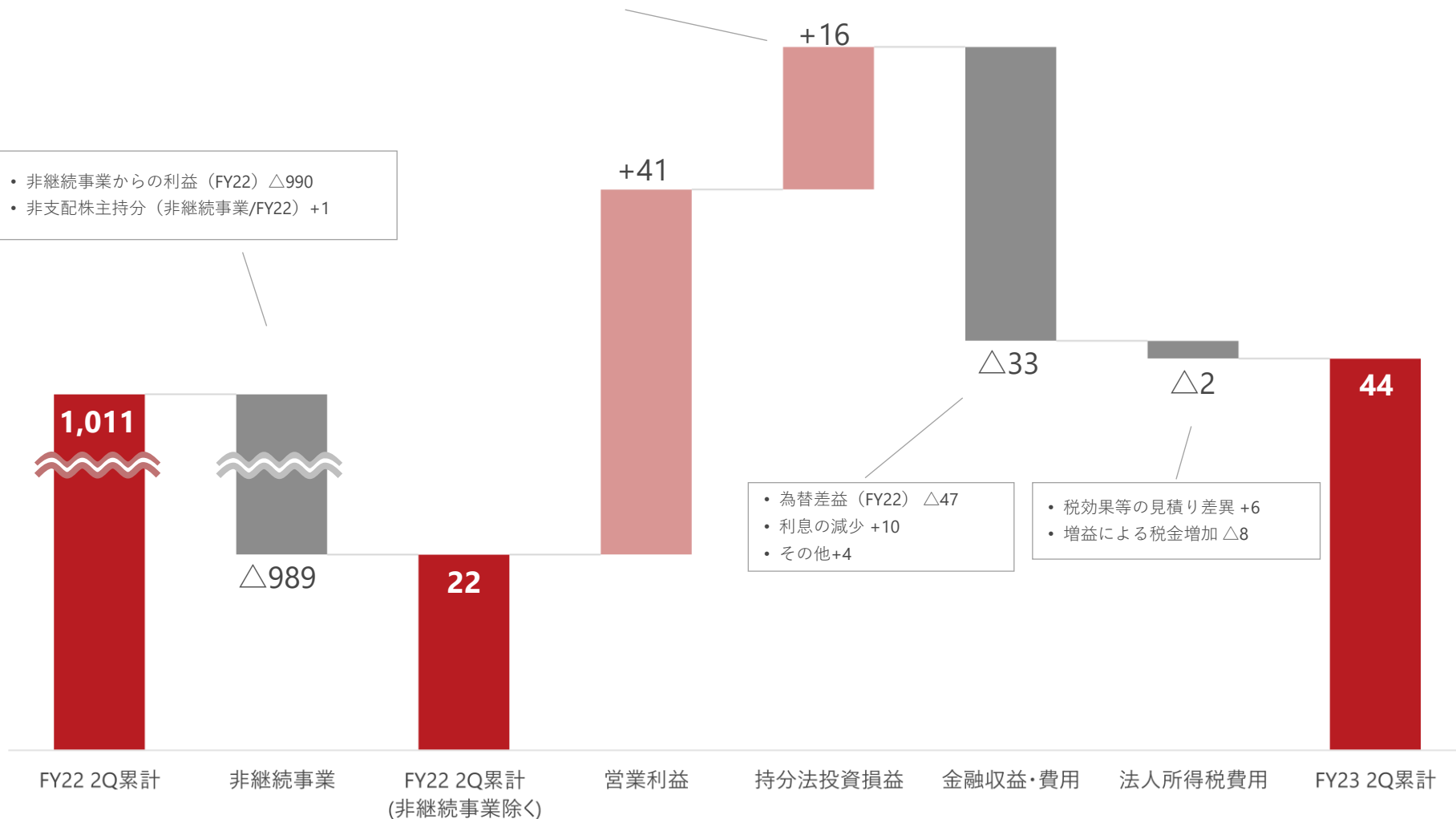
対前年同期

- 非継続事業からの利益 (FY22) $\Delta 990$
- 非支配株主持分 (非継続事業/FY22) +1

- 持分法適用株式の評価損 (FY22) +18
- その他 $\Delta 2$

- 為替差益 (FY22) $\Delta 47$
- 利息の減少 +10
- その他+4

- 税効果等の見積り差異 +6
- 増益による税金増加 $\Delta 8$



FY22の株式売却益に係る法人所得税費用の支払い等により、現金及び現金同等物が減少するが、財務健全性を維持

バランスシート

単位：百万円	FY22	FY23 2Q	増減額
現金及び現金同等物	96,436	59,903	① △36,533
売上債権及びその他の債権	14,834	13,910	△923
棚卸資産	16,107	15,971	△135
のれん	48,589	49,487	+898
無形資産	78,302	79,047	+744
その他資産	52,986	70,785	② +17,798
資産合計	307,257	289,106	△18,151
仕入債務及びその他の債務	6,296	8,008	+1,712
借入金	48,054	41,223	△6,830
その他負債	60,038	33,324	③ △26,713
負債合計	114,388	82,557	△31,830
資本合計	192,869	206,548	+13,679

財務健全性

有利子負債	48,054	41,223	△6,830
現金性資産	132,200	112,941	△19,259
Net Debt	△84,146	△71,717	+12,429

主な増減要因

- ① 現金及び現金同等物△365億円
 - ・ 営業CF△217億円
 - － 事業EBITDA+80億円
 - － 営業活動に係る資産・負債の増減 +48億円
 - － 法人所得税費用の支払い△354億円
 - ・ 投資CF △11億円
 - ・ 財務CF△150億円
 - － 借入金の返済△70億円
 - － 配当金の支払い△46億円
- ② その他資産+177億円
 - ・ その他の金融資産+173億円
- ③ その他負債△267億円
 - ・ 未払法人所得税の減少△343億円
 - ・ 繰延税金負債の増加 +62億円

セグメント別業績は下記のとおり

単位：百万円		FY22 2Q累計	FY23 2Q累計	増減額	増減率
ものづくり (部品・材料)	売上収益	6,298	5,808	△489	-7.8%
	事業EBITDA	1,853	1,522	△330	-17.8%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	24,673	34,984	+10,311	+41.8%
	事業EBITDA	3,578	6,938	+3,359	+93.9%
AlphaTheta	売上収益	16,820	25,184	+8,363	+49.7%
	事業EBITDA	3,897	7,053	+3,156	+81.0%
JLab	売上収益	7,852	9,800	+1,947	+24.8%
	事業EBITDA	△318	△115	+203	-
その他・全社費用	売上収益	565	675	+110	+19.6%
	事業EBITDA	△382	△414	△31	-
連結合計	売上収益	31,536	41,469	+9,932	+31.5%
	事業EBITDA	5,049	8,046	+2,997	+59.4%

Contents

1. FY23 2Q累計 連結業績
2. FY23 通期連結業績予想
3. トピック

全事業共通

- 為替について、上半期は米ドル、ユーロともに、上半期実績、下半期は米ドル130円、ユーロ140円の前提

ものづくり（部品・材料）/テイボー

- 筆記は、アジア及び中南米市場の需要が回復するも、欧米及び国内市場が停滞
- コスメは、中国市場が回復するも、欧米及び国内市場が停滞
- MIMは、顧客の生産調整等の回復が遅れ停滞が続く
- 上半期の進捗に伴い、下方修正

ものづくり（音響機器関連）/AlphaTheta

- 堅調な需要及び供給の改善により売上伸長
- 新製品も予定通り市場投入し、好調に推移
- 調達価格の適正化が進み、収益性が改善
- 上半期の進捗に伴い、上方修正
- Serato Audio Research Limitedの株式取得はクロージング前のため、反映せず

ものづくり（音響機器関連）/JLab

- 上半期は上振れたものの、今後の不確実性を考慮し、為替影響を除き、予想は変更せず

想定為替レートの見直し及び上半期までの進捗等を反映し、上方修正

単位：百万円	FY23 期初予想	FY23 8/10付修正予想	対期初予想	FY22	対前期	
売上収益	80,000	84,800	+4,800	73,515	+ 15.3%	
事業EBITDA	12,400	15,500	+3,100	11,367	+ 36.3%	
事業EBITDAマージン	15.5%	18.3%	+2.8%	15.5%	+2.8%	
営業利益	7,600	11,200	+3,600	1,262	+ 787.1%	
当期利益	4,300	6,700	+2,400	101,548	-93.4%	
為替レート (平均)	米ドル (円)	130.0	132.4	+2.4	131.4	+1.0
	ユーロ (円)	132.0	142.9	+10.9	138.0	+4.9
為替レート (期末)	米ドル (円)	130.0	130.0	-	132.7	-2.7
	ユーロ (円)	132.0	140.0	+8.0	141.5	-1.5

*JMDC株式の一部株式譲渡に伴い、FY22において医療情報に関する事業を非継続事業に分類しております。

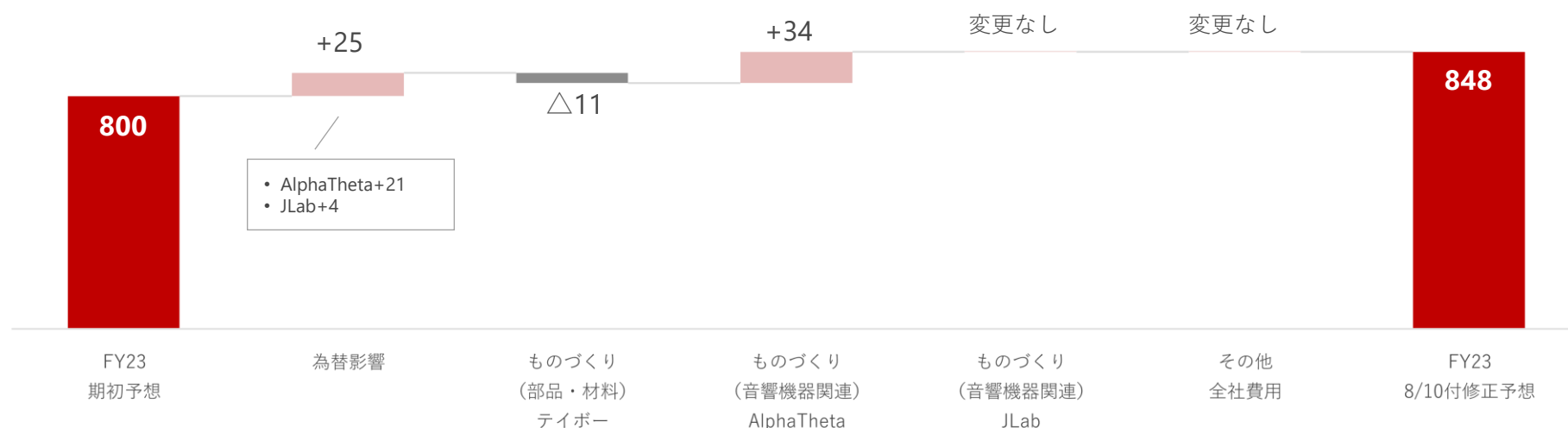
*3Q以降の為替レートは米ドル 130.0円、ユーロ 140.0円と想定しております。

- テイボーは、ペン先の停滞、MIMの回復の遅れを反映し、下方修正
- AlphaThetaは、上半期の上振れと為替影響を反映し、上方修正。下半期は為替以外、据え置き
- JLabは、為替影響のみ反映し、売上収益を上方修正、事業EBITDAは据え置き

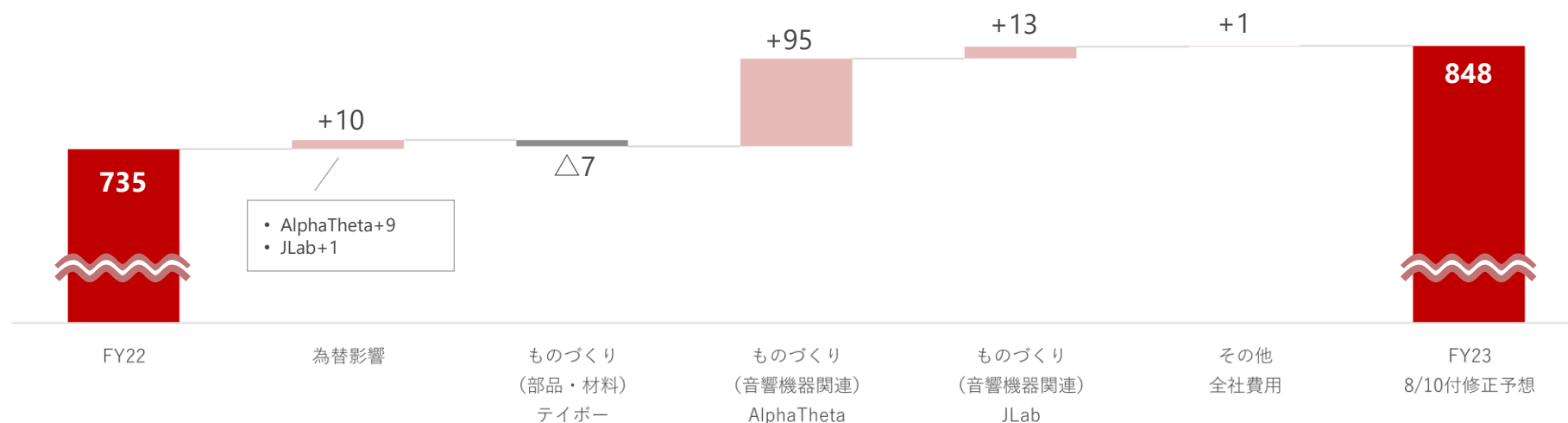
単位：百万円		FY23 期初予想	FY23 8/10付修正予想	対期初予想	FY22	対前期
ものづくり (部品・材料)	売上収益	13,100	12,000	△1,100	12,717	-5.6%
	事業EBITDA	3,800	3,300	△500	3,718	-11.3%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	65,500	71,400	+5,900	59,516	+20.0%
	事業EBITDA	9,500	13,100	+3,600	8,234	+59.1%
AlphaTheta	売上収益	41,300	46,800	+5,500	36,362	+28.7%
	事業EBITDA	7,700	11,300	+3,600	6,897	+63.8%
JLab	売上収益	24,200	24,600	+400	23,154	+6.2%
	事業EBITDA	1,800	1,800	-	1,337	+34.6%
その他・全社費用	売上収益	1,400	1,400	-	1,282	+9.2%
	事業EBITDA	△900	△900	-	△586	-
連結合計	売上収益	80,000	84,800	+4,800	73,515	+15.3%
	事業EBITDA	12,400	15,500	+3,100	11,367	+36.3%

単位：億円

対期初予想

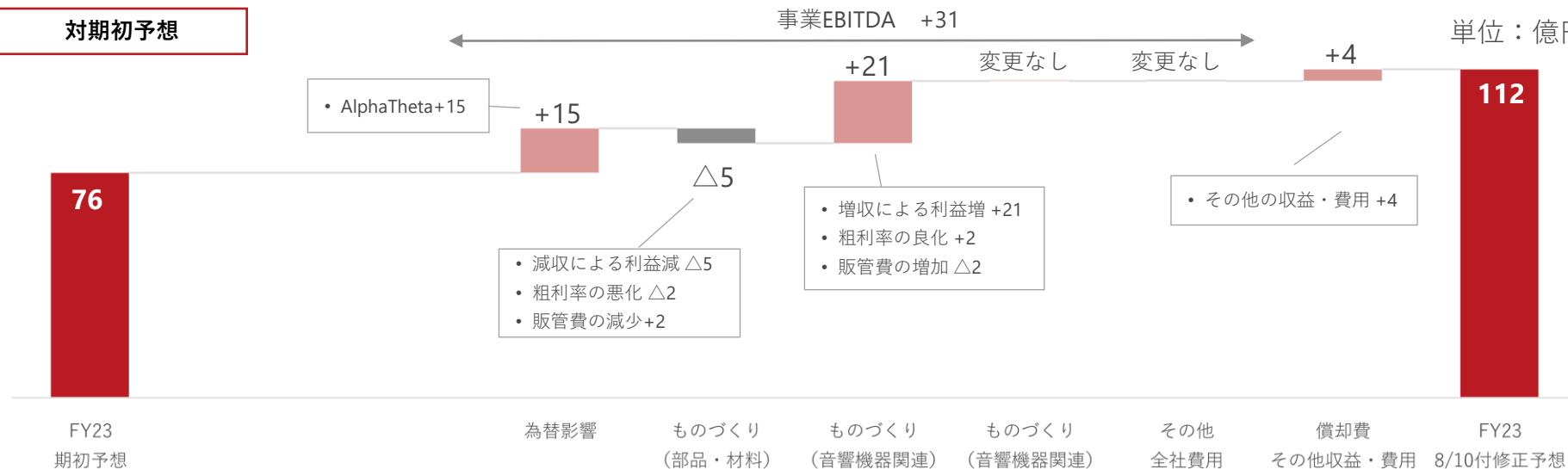


対前期

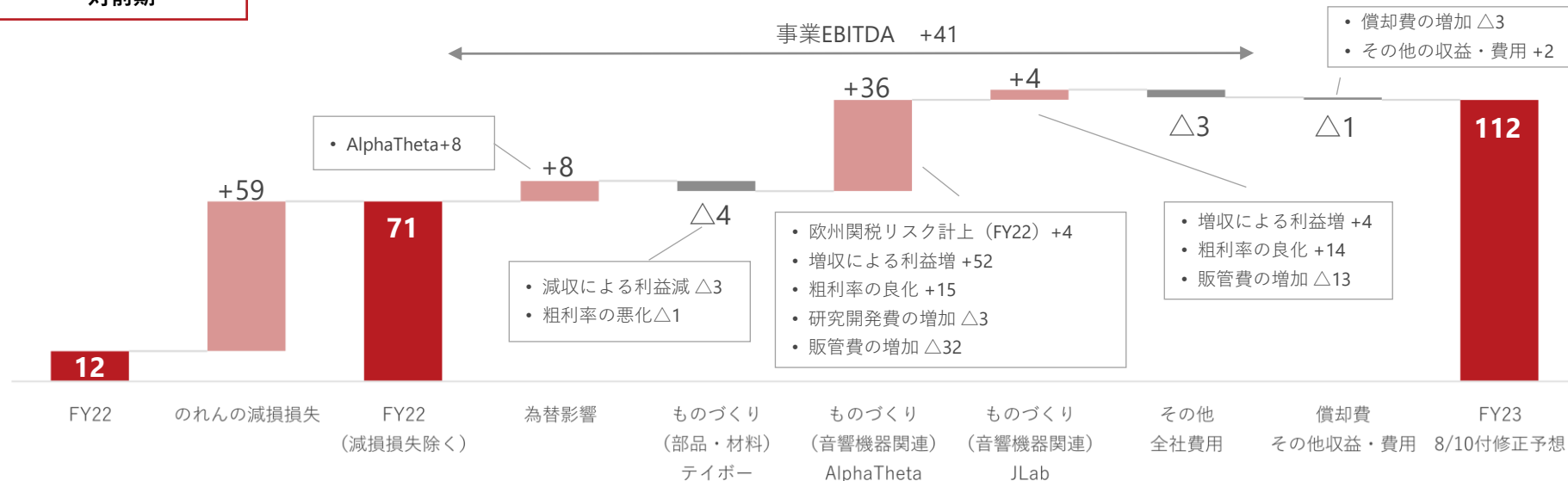


単位：億円

対期初予想

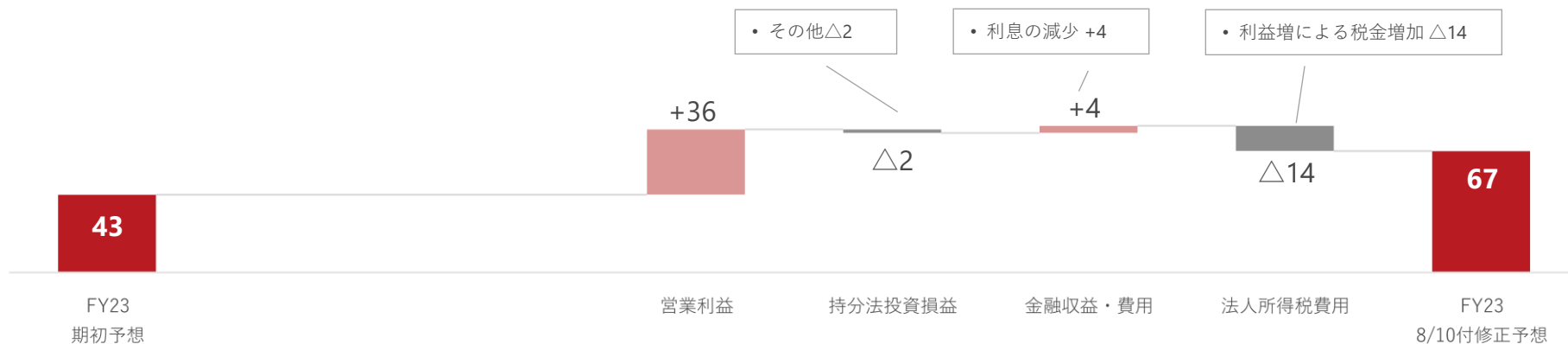


対前期

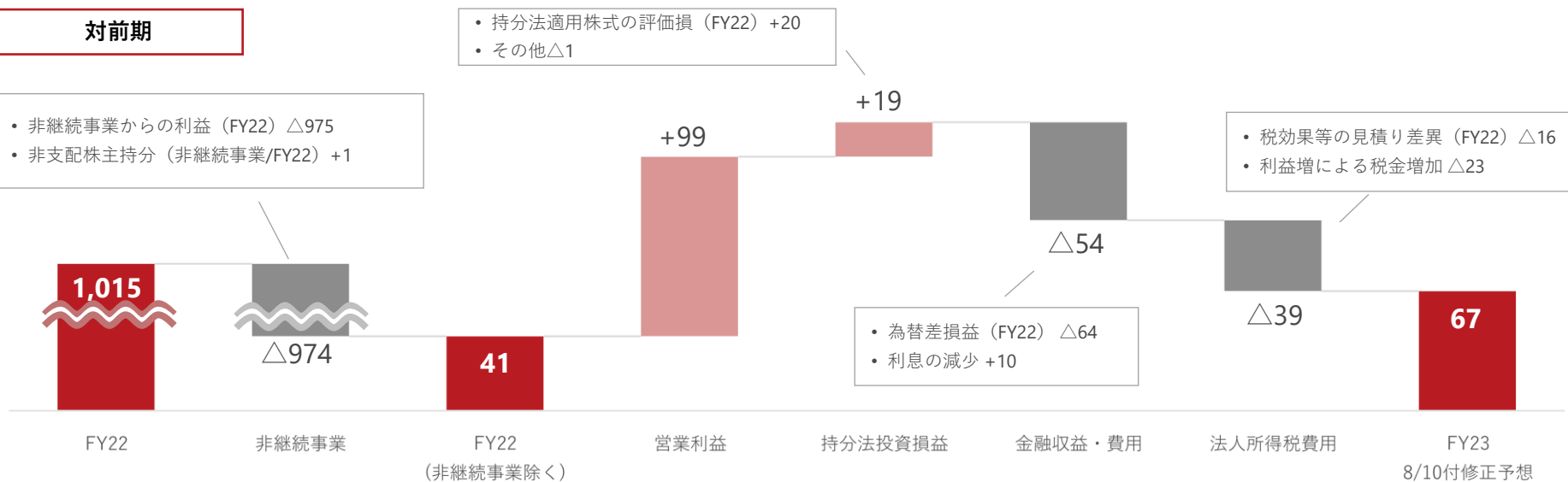


単位：億円

対期初予想



対前期



Contents

1. FY23 2Q累計 連結業績
2. FY23 通期連結業績予想
3. トピック

2023年5月17日(水)～5月19日(金)の3日間、CITE JAPAN 2023に出展

CITE JAPAN 2023 (化粧品産業技術展)

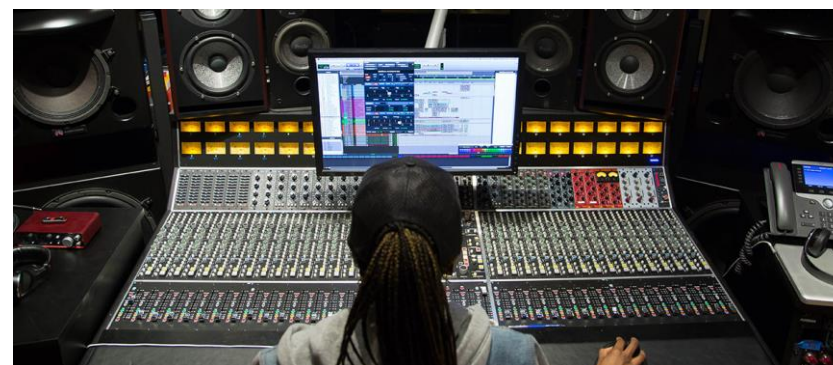


DJ用・音楽制作用に代表されるオーディオ・ソフトウェアの開発・販売を手がけるSerato社の100%株式取得について合意

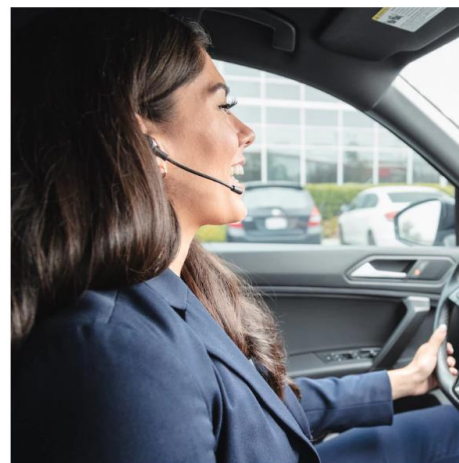
会社名	Serato Audio Research Limited
設立	1998年2月18日
本社所在地	Level 2, 8 Brown Street, Ponsonby, Auckland 1011, New Zealand
代表者	Young Ly, CEO
資本金	516千NZドル
事業内容	DJ用及び音楽制作用に代表されるオーディオ・ソフトウェアの開発及び販売、並びにそれらのサービスに関する事業
売上収益	40,370千NZドル
営業利益	10,475千NZドル
当期利益	6,639千NZドル

*売上収益、営業利益、当期利益は、2023年3月期でのNZ会計基準による財務数値

serato

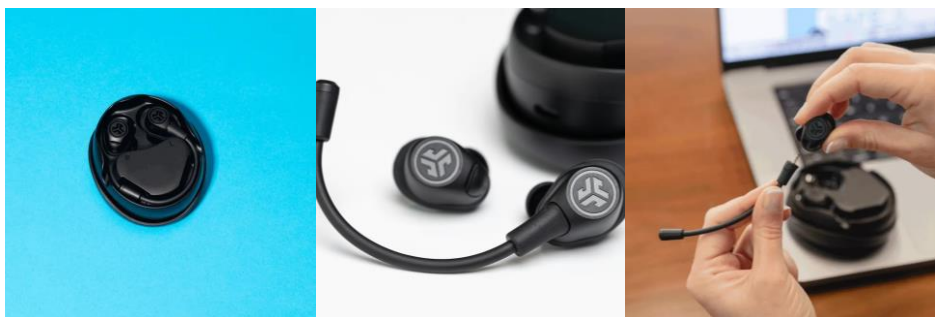


2023年5月、ノイズキャンセリング機能付き着脱式ブームマイクによりクリアな通話を可能とする『WORK BUDS』を発売



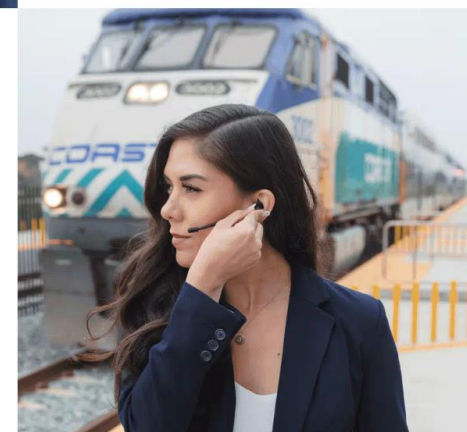
LONG BATTERY LIFE

The Work Buds True Wireless headset boasts a long 55+ total hours playtime. Enjoy your music, podcasts, or take calls for extended periods without having to worry about running out of battery. The earbuds themselves have a playtime of 10+ hours per single charge for listening or 6+ hours of talk time. With its charging dock, you can easily top up the earbuds' battery whenever needed, ensuring that you never run out of juice when you need it most.



BEST EARBUD FOR CALLS

Whether you're in a busy office or a noisy city street, the Work Buds' noise-canceling boom mic guarantees that your calls will be crystal clear and uninterrupted. The boom mic's noise-canceling technology helps eliminate background noise, ensuring that your voice is heard loud and clear on the other end. The detachable design of the boom mic allows for easy switching between calls and music, and the ability to fit either earbud offers a comfortable and personalized experience.



Appendix

為替の各事業への影響について

- 米ドル及びユーロ取引が多いAlphaTheta及びJLabで影響あり
- 円安はグループ全体では営業利益プラスに

概要

テイボー

- グローバルで販売及び仕入ともに円貨取引が基本のため**対米ドル、対ユーロともに影響は僅少**

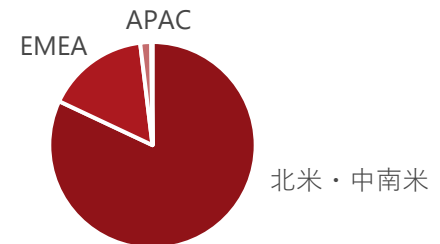
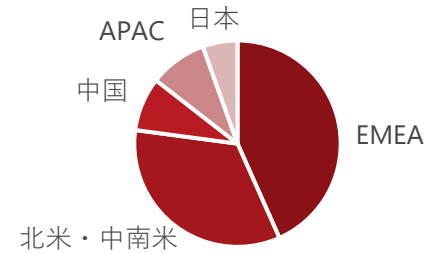
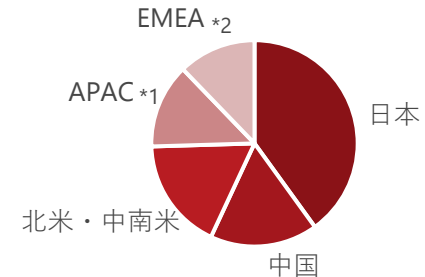
AlphaTheta

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- EMEAの売上収益が大きいため、**対ユーロで円安は利益プラス**
- 北米を中心とする米ドルでの売上収益が仕入をやや下回るため、**対米ドルで円安は利益マイナス**

JLab

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- 米国の売上収益が大きいため、**対米ドルで円安は利益プラス**
- 米国以外は売上収益がまだ小さいため影響は軽微

FY22 地域別売上収益構成比



*1 APACは、アジア、オーストラリア（日本、中国を除く）

*2 EMEAは、ヨーロッパ、中東、アフリカ

為替の通期連結業績への影響は以下のとおり

為替レート（平均）の1円円安による影響額

通貨	FY23予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA/営業利益
米ドル	130.0円	+3.2億円	+0.0億円
ユーロ	132.0円	+1.3億円	+1.1億円

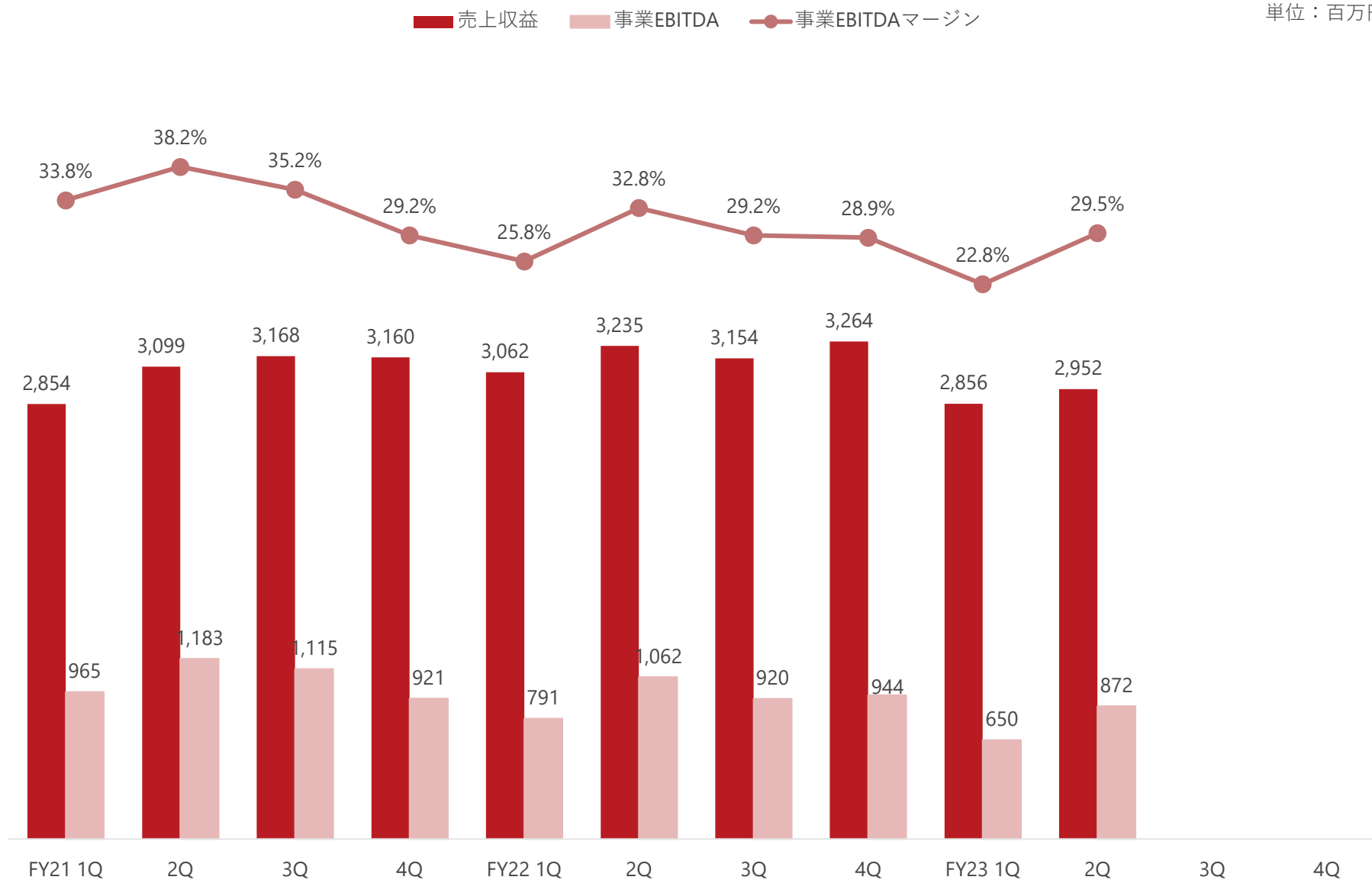
2023年8月10日付修正予想の為替前提

通貨	上半期	下半期	通期
米ドル	134.9円	130.0円	132.4円
ユーロ	145.8円	140.0円	142.9円

期初予想の為替前提

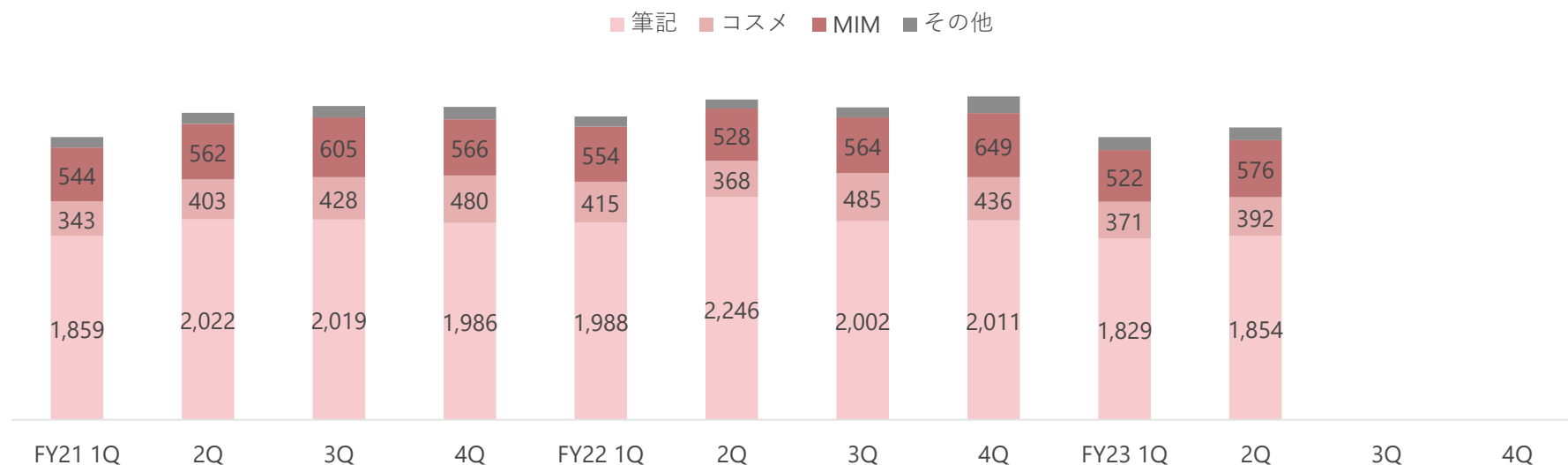
通貨	上半期	下半期	通期
米ドル	130.0円	130.0円	130.0円
ユーロ	132.0円	132.0円	132.0円

単位：百万円



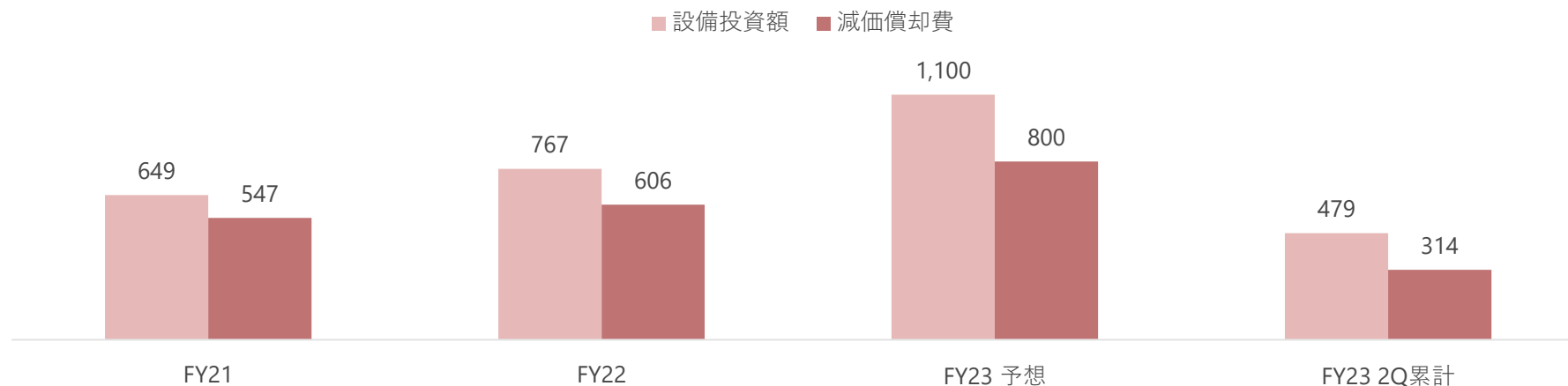
カテゴリ別売上収益推移

単位：百万円



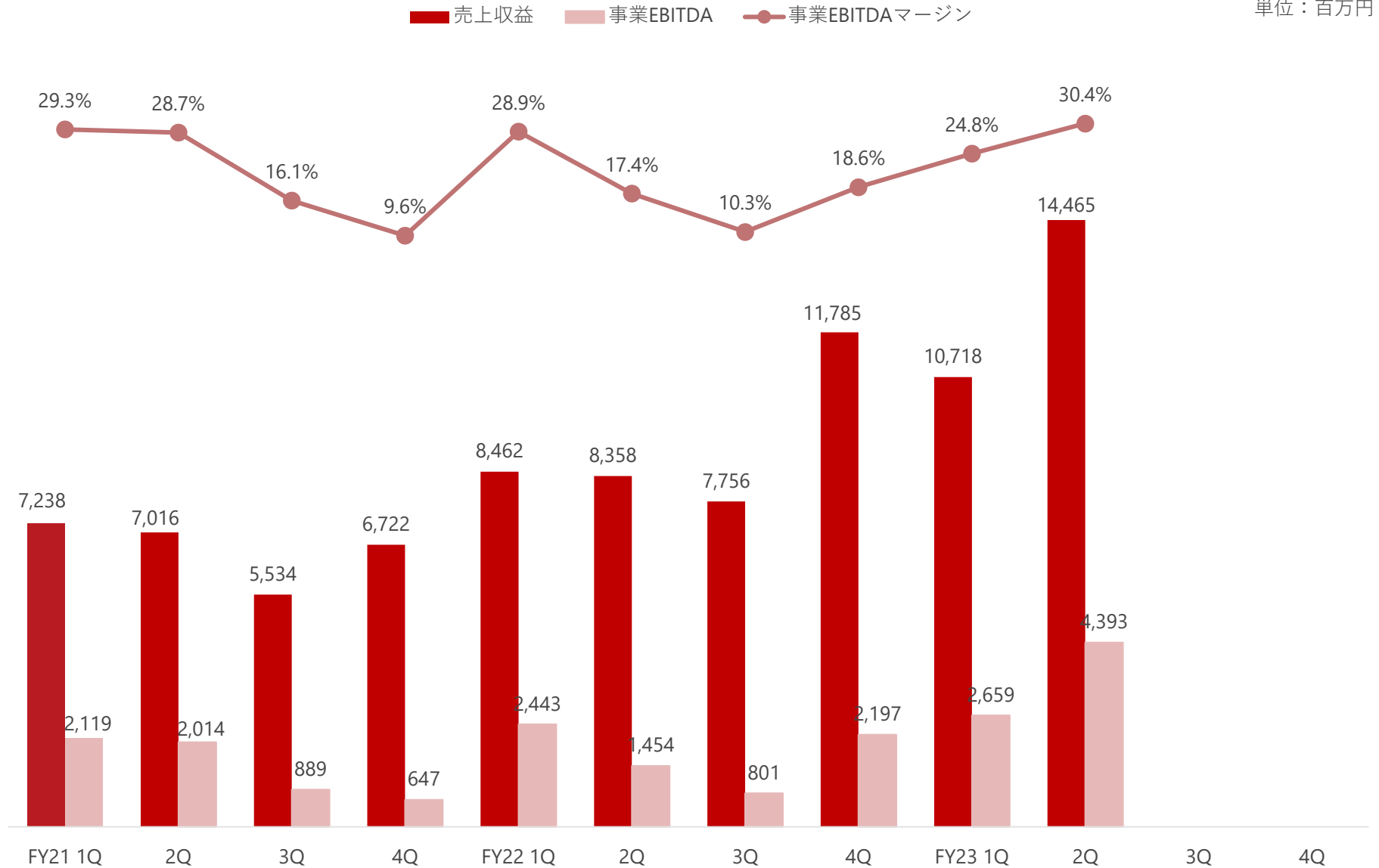
設備投資・減価償却費^{*1}

単位：百万円



*1 使用権資産に係る償却費及びPPAの償却費を除く

単位：百万円

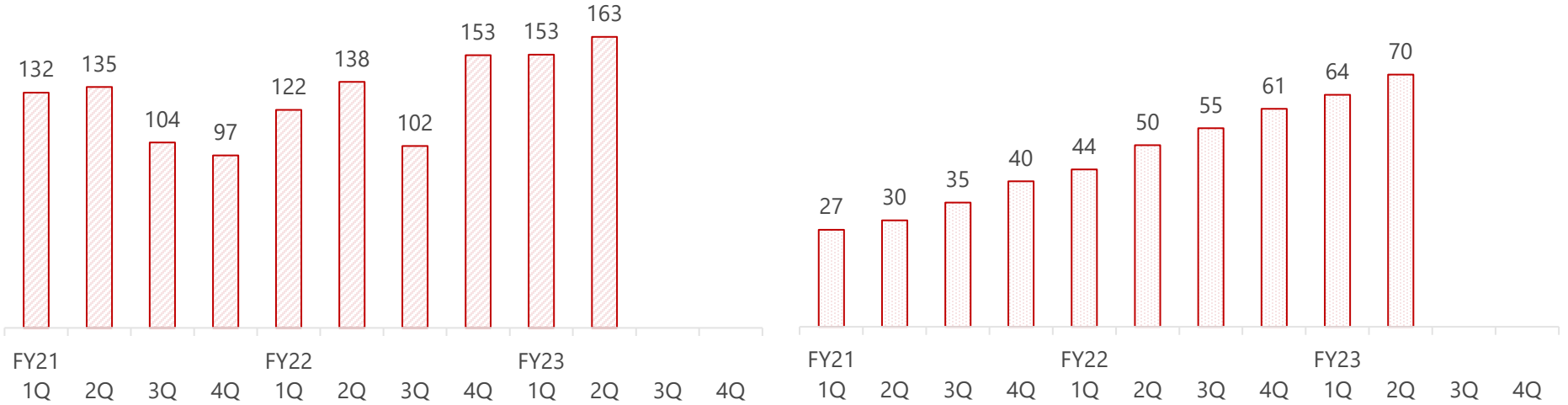


DJ機器出荷台数

単位：千台

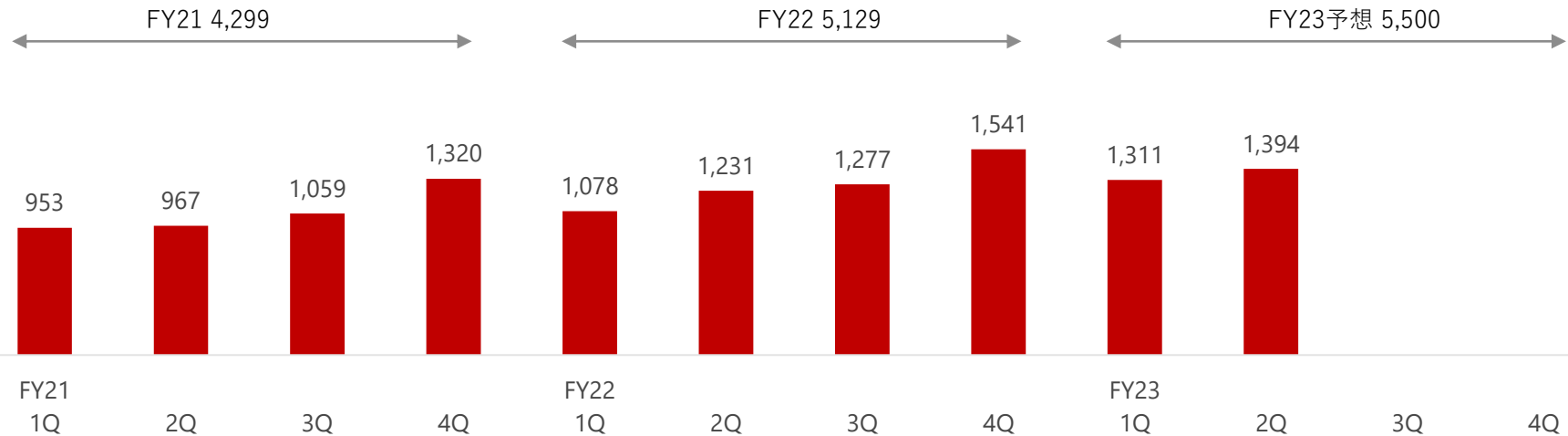
DJ向けアプリケーションMAU *1

単位：万人



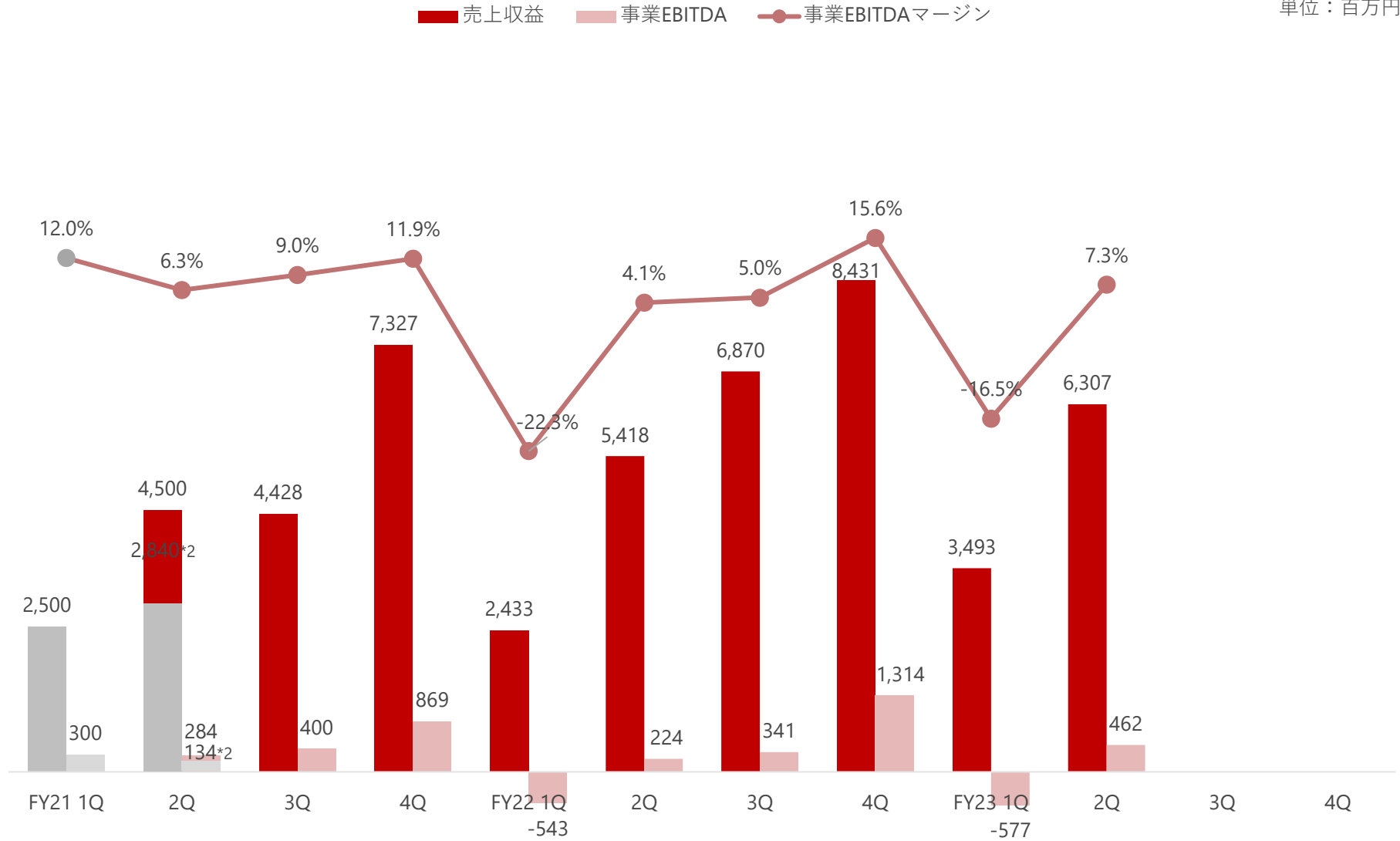
研究開発費

単位：百万円



* FY23 1Qの決算補足説明資料より、rekordbox ver.6以上のMAUに変更。MAUはFY21 1Qに遡及して変更済

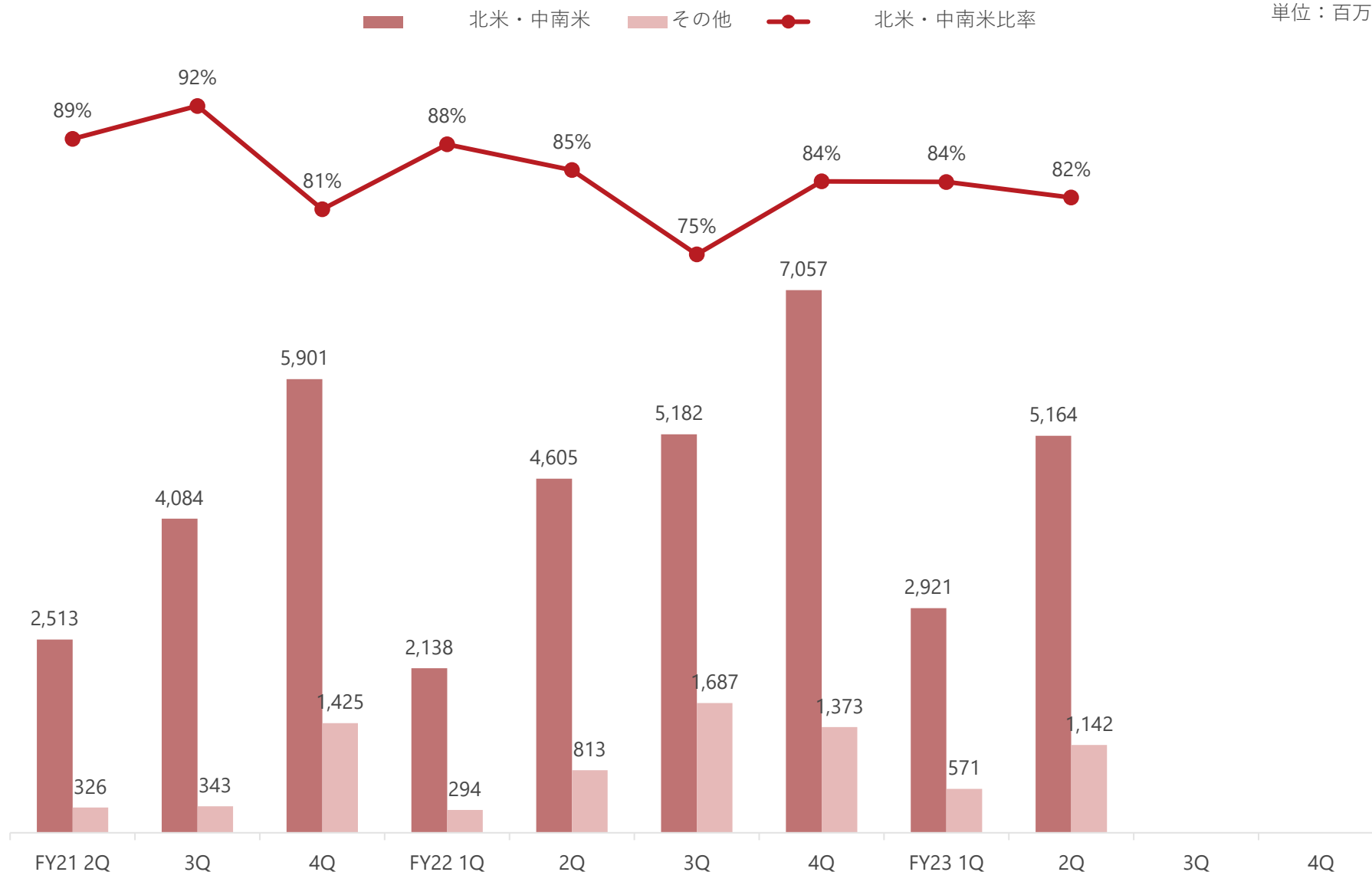
単位：百万円



*1 グレーの期間は、グループ外のため参考値。米国会計基準。1米ドル106円で換算

*2 2021年5月にグループ入りした以降の金額

単位：百万円



*2021年5月にグループ入りした以降の金額

社名 ノーリツ鋼機株式会社（東証プライム市場：7744）

代表者 代表取締役CEO 岩切 隆吉

創業 1951(昭和26)年6月

設立 1956(昭和31)年6月

資本金 7,025,302,000円

本社 東京都港区麻布十番1-10-10 ジュールA 5階

取締役	岩切 隆吉	取締役 (監査等委員)	太田 晶久
	横張 亮輔		伊庭野 基明
	大塚 あかり		高田 剛

部品・材料

先端及び極小部材の製造事業

テイボー株式会社

会社名 テイボー株式会社
代表者 代表取締役社長 河内清志
資本金 50百万円
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野、先端部材、MIM製造部品、コスメ用ペン先部材（合繊芯、プラスチック芯、ポリブチレンテレフタレート樹脂（PBT）ブラシなど）等の製造・販売

■グループ会社

泰宝制筆材料(常熟)有限公司（テイボー100%子会社）
 ・マーケティングペン先部品の中国（江蘇州）における製造・販売拠点

株式会社 soliton corporation（テイボー100%子会社）
 ・コスメ用ペン先部材の製造・販売

音響機器関連

音響、音楽制作機器の商品開発事業

AlphaTheta株式会社

会社名 AlphaTheta株式会社
 （旧Pioneer DJ株式会社）
代表者 代表取締役社長 片岡芳徳
資本金 1億円（2021年12月31日現在）
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・及び販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

■販売子会社

AlphaTheta EMEA Limited
AlphaTheta Music Americas, Inc.
AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.

音響機器関連

パーソナルオーディオデバイス製品事業

PEAG, LLC dba JLab

会社名 PEAG, LLC dba JLab
代表者 Winthrop Cramer, CEO
資本金 19M USD（2023年3月31日現在）
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 パーソナルオーディオデバイス及びテクノロジー製品の設計及び販売